



<https://www.thepack.co.jp/>

本社 〒530-6020
大阪府大阪市北区天満橋1丁目8-30 OAPタワー20階
TEL:06-4967-1221

東京本社ビル 〒151-0063
東京都渋谷区富ヶ谷2丁目8-4
TEL:03-3469-1221

ホームページ <https://www.thepack.co.jp/>

創業年 1878年(明治11年)

設立年月日 1952年(昭和27年)5月10日

資本金 25億5,350万5,600円

代表者 代表取締役社長 山下 英昭

社員数 1,198名(連結:2021年12月) 841名(単体:2021年12月)

年商 801億円(連結:2021年12月)

市場区分 東京証券取引所プライム市場(証券コード3950)

事業内容 紙袋、印刷紙器、段ボール製品、化成品パッケージ等の企画・製造・販売

事業所 本社 / 大阪
本部 / 東京本社ビル
支社 / 北海道、東北、関東、横浜、名古屋、京都、神戸、岡山、広島、四国、福岡
営業所 / 青森、新潟、静岡、金沢、松本、米子、高松、大分、熊本、鹿児島、長崎、沖縄
工場 / 大阪、奈良、東京、茨城

国内子会社 株式会社 京浜特殊印刷
日幸印刷 株式会社
株式会社 パックタケヤマ
西日本印刷工業 株式会社
カンナル印刷 株式会社

海外子会社 ザ・パックアメリカコーポレーション
特百嘉包装品貿易(上海)有限公司
特百嘉包装制品(常熟)有限公司



CSR REPORT 2022

Corporate Social Responsibility Report



印刷:西日本印刷工業株式会社 2205

THE PACK CORPORATION

経営理念と 企業理念体系図



CONTENTS

トップメッセージ	02
コーポレートプロフィール	03
SDGsへの取り組み	05
豊かな環境の創造	
環境への取り組み	07
ザ・パックフォレスト環境基金活動	12
新製品の紹介	13
社会との共感	
品質管理	15
社会貢献活動	16
人材育成と職場づくり	17
実効あるガバナンスの推進	
コーポレート・ガバナンス/ コンプライアンス	21
会社概要	裏表紙

編集方針

本レポートは、ステークホルダーの皆様にご理解いただくこと、従業員の教育ツールとして活用されることを目的として編集しています。ESG(環境、社会、ガバナンス)への関心が高まっていることから、各活動内容をその枠組みに分類し記述しています。

■報告の対象期間

2021年度(2021年1月1日～2021年12月31日)を基本としていますが、一部に対象期間前後の情報を含みます。

■報告の対象組織

ザ・パック株式会社

■作成部署・お問い合わせ先

ザ・パック株式会社 IR広報室
住所：〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷2丁目8-4
TEL：03-3469-1221 FAX：03-3469-1353
E-mail：koho@thepack.co.jp

■会社URL

<https://www.thepack.co.jp/>



トップメッセージ

私、山下英昭は2022年3月30日付で代表取締役社長に就任しました。微力ではございますが、ザ・パックグループのさらなる発展に尽力してまいりますので、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

1952年に段ボール製の衣装箱を製造するメーカーとして設立した当社は、今年70周年を迎えます。創業社長の森田重成は、創成期の戦後間もない時代に、自分を信頼してついてきてくれた従業員に感謝し、「愛し愛され」という社是を残しました。これは、お客様だけでなく社員を大切にしていこうという森田の経営信条を表した言葉です。時代が移り変わり、現在当社グループは全体で約1,200名の従業員を抱える企業へと成長しましたが、この森田の想いは現在の経営理念の1つである「人を大切にし、人を育てる」考えに生きています。私は経営の舵取りをしていくにあたり、経営理念を会社の根幹として事業活動に体现していくとともに、不変のものとして後世に受け継いでいく所存です。

現在、当社は総合パッケージメーカーとしてオリジナルの紙袋、印刷紙器、段ボール製品、化成品パッケージなどを取り扱っています。近年は「トータルパッケージのソリューション企業」として、環境対応、業務効率化、省人化、SDGs推進など、お客様が抱える課題を、さまざまなパッケージを通じて解決していく営業スタイルが定着してきました。

2021年の日本の景気は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により停滞を続けながら、落ち込みと持ち直しを繰り返していました。当社はグループ全体で結束して新市場の開拓、積極的な設備投資、品質管理の改善など業績の向上に努めた結果、2021年12月期は、増収増益を達成しました。特に印刷紙器においては紙化や減プラ、構造設計の変更を始めとする複合的な提案を具現化し、コロナ禍による生活様式の変化に対応することでEC用パッケージや食品テイクアウト・デリバリーパッケージの売り上げが増加しました。

昨今、持続可能な社会を実現していくために、企業は具体的な目標、行動、成果が期待されています。さらに当社はプライム市場上場企業として、SDGs、気候変動問題、カーボンニュートラルなどの世界共通の課題に対しての取り組みや情報開示が責務と認識しております。また、ステークホルダーからは環境・社会・ガバナンス(ESG)を重視した経営が求められており、より一層、会社としての存在意義が問われる時代になっています。今後「サステナブル経営」を推進加速していくために、2022年1月に「サステナブル経営推進室」を新設しました。全社に横串を通したこのプロジェクトチームを基軸に、2030年、2050年に向けた長期的なビジョン・目標設定、マテリアリティの特定、気候変動への対応、温室効果ガス削減などの社会課題に対する取り組みなどの具現化に向けて活動しています。次年度の本レポートでは、各種結果、進捗状況を公表できるよう努めております。

ザ・パックグループはこれからも中核となる事業を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

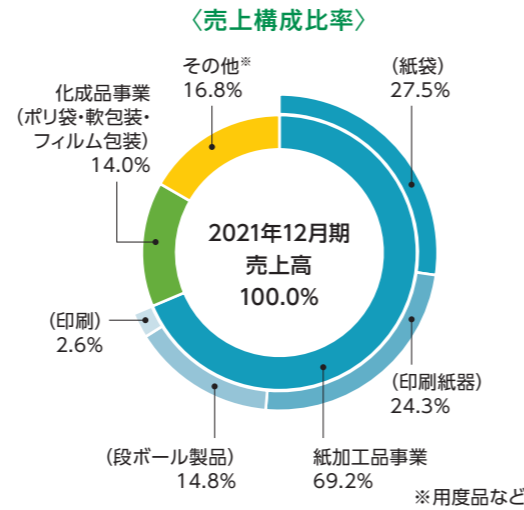


ザ・パック株式会社
代表取締役社長

山下 英昭

コーポレートプロフィール

取り扱い製品



ザ・パックの強みと製品提供までの行程

①ご相談・お打ち合わせ

国内4工場での生産体制、グループ会社や協力会社との連携により、パッケージに関するご相談から安定的な供給・運用までをトータルにプロデュースします。全国の営業拠点には包装のプロである約250名の営業が在籍しており、包装資材の悩みごとに対する解決策をご提案する他、パッケージを通じた現場の効率化、省人化等のソリューション提供も可能です。



②企画

パッケージデザイン(グラフィックデザイン・構造設計)を専門に行うクリエイティブ部門には約60名が在籍しており、営業と協力しながらお客様に最適なパッケージを企画します。多種多様なパッケージラインナップと約14,000社との取引実績から得た豊富なノウハウを活かし、素材、形式、加工を含む幅広い選択肢を提示できるようにしています。



③生産

国内4か所の自社工場に加え、グループ会社、外部委託工場にて製造しています。東京工場、大阪工場の関連部門は食品安全マネジメントシステムの国際規格であるFSSC22000認証を取得しており、高品質で安心安全な食品用パッケージを製造できる管理体制、設備、環境が整っています。



④納品

大容量の自動ラック倉庫や、WEB受発注システムによる速やかな納品体制を備えています。ご指定いただいた場所にパッケージを納品します。



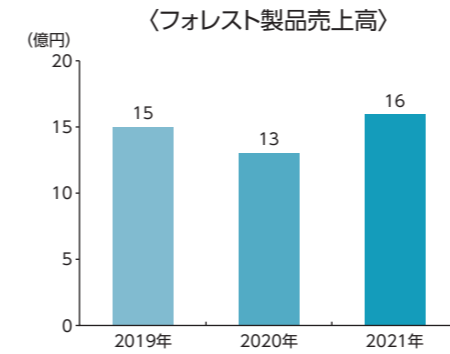
中期経営計画

- 対象期間：2020年～2022年
- スローガン：環境対応を見据えた経営 ※「環境対応」とは自然環境のみならず、社会環境、職場環境など幅広い分野に対応することを意味しております。
- 成長戦略
 - (1) 紙化への取り組み
 - (2) 食品、医薬品・化粧品、EC市場への拡販
 - (3) 紙器の販売強化
 - (4) 事業領域の拡大
 - (5) 生産性向上と働き方改革の推進

● SDGsへの取り組み

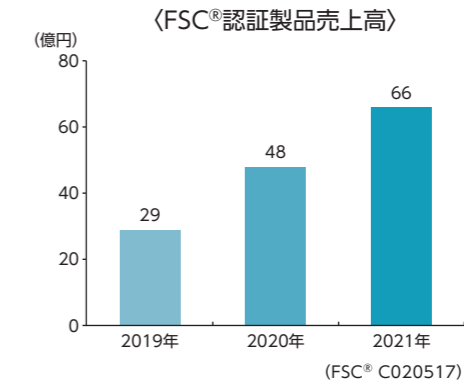
① フォレスト製品販売強化

販売額の一部をフォレスト環境基金として拠出、お客様と一緒に地球環境保護活動に取り組む



② Forest Stewardship Council® (森林管理協議会) 認証製品の販売強化

森林保全に貢献していく

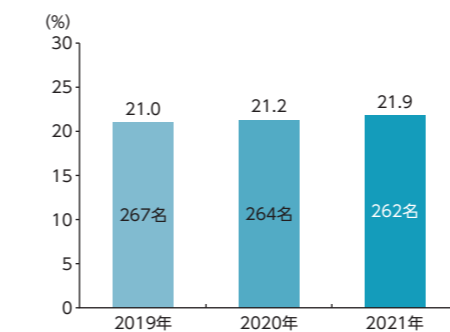


③ CO₂削減への取り組み

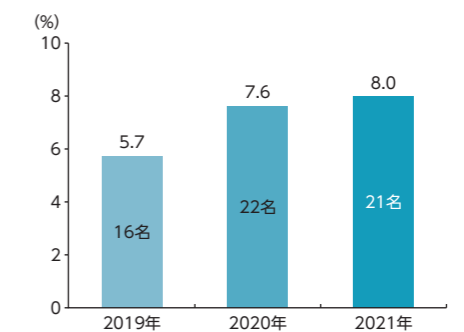
今後予定している本社社屋、大阪工場建替え時に、再生可能エネルギーへの転換を図る

④ 女性活躍推進のための行動計画

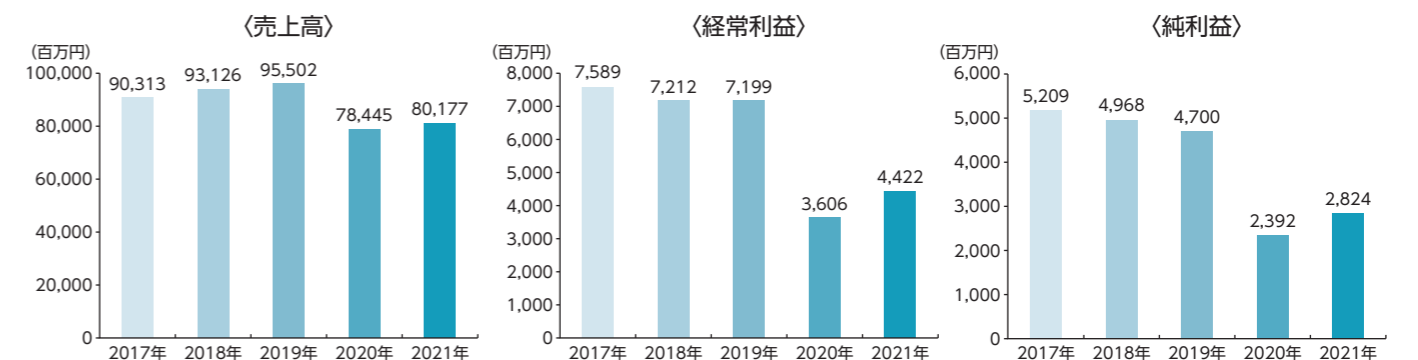
正社員に占める女性の割合を25%以上にする



管理職(課長以上)に占める女性の割合を10%以上にする



財務ハイライト(連結)



SDGsへの取り組み

当社は、企業理念をもとにSDGsに繋がる活動を行っています。

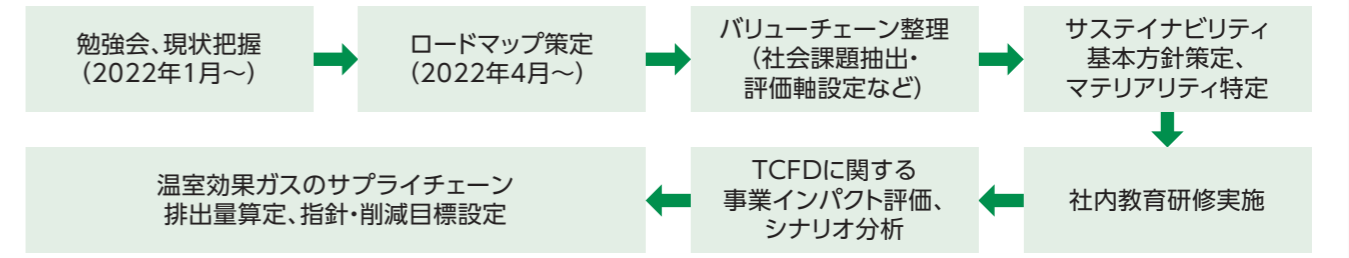
これらの取り組みを一覧にして整理しました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



サステイナブル経営推進室新設

持続可能な社会を実現するために、各企業には本業を通じて自然環境や社会課題の解決に向けた貢献が求められています。当社は2022年1月に社内プロジェクトチームとしてサステイナブル経営推進室を新設しました。2023年3月までを目途に、バリューチェーンの整理、サステナビリティ経営方針の策定とマテリアリティの特定、TCFDの事業インパクト評価とシナリオ分析、温室効果ガスのサプライチェーン排出量算定、指針・削減目標の設定などを進めていきます。



企業理念体系	ザ・パックでの取り組み	SDGsの持続可能な開発目標との関連 (○は関連する項目)													
		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
コーポレート・ガバナンス (コンプライアンス) に関わる項目	健康経営に取り組み、健康診断と二次検診の徹底、ストレスチェックの100%受検、禁煙に取り組んでいる	○													
	育児・介護支援を実施している			○			○								
	女性活躍推進のための行動計画を策定している			○			○								
	障がい者の雇用など、障がい者が社会へ参加する支援を行っている						○		○						
	安全・安心な労働環境を促進するために、研修や設備、マニュアルなどの整備を行っている						○								
	人が育つ職場づくり、安心して働ける給与や処遇、60歳定年後も見据えた制度設計を実施している														
	年齢、性別、障がい、人種、宗教等によって、差別をしていない			○					○						
	ハラスメント行為があった場合、報告を受け、原因を追求し、再発防止策を施している			○				○							○
主力商品 ・紙袋・印刷紙器 ・段ボール製品 ・化成パッケージ	内部統制、内部監査を通じて賄賂の要求や支払がないか、監視している														○
	仕入先に対し「反社会勢力の排除に関する誓約書」の提出を要求している														○
	プラスチックラミネートに代わる表面加工技術を活用している										○		○	○	
	食品用プラスチック包材に代わる機能性を付与した紙製包材を取り扱っている										○		○	○	
企画・提案 物流・生産	プラスチックに代わる紙製緩衝材を取り扱っている									○		○	○	○	
	リサイクル可能な段ボール製収納什器を取り扱っている									○		○	○	○	
	原材料使用量の少ない製品の提案をしている									○					
	包装資材を使用する環境でのエネルギー効率が良い仕組みの提供をしている									○					
環境・品質 マネジメントシステム	製品の生産において、紙・インキ、その他の資源の消費を削減している									○		○			
	製造工程で利用した水を浄化し、再利用している					○				○					
	有害な化学物質の利用を削減している					○				○					
	有害な化学物質を含む廃液を適切に回収・処理している					○				○					
	製品の生産以外での事業活動において、紙その他の資源の消費を削減している									○				○	
	CO ₂ 排出量(原単位)の削減をしている									○					
環境対応商品の開発・提供	太陽光発電のようにCO ₂ 排出の小さい再生可能エネルギーへの転換を進めている					○						○			
	東京・大阪工場の対象製造ラインでは、FSSC22000認証を取得しており、食品安全マネジメントシステムに沿った製造をしている									○					
	FSC®認証製品等の環境に配慮した原材料を調達している									○				○	
	アフターユースのできる製品の開発をしている									○					
ザ・パックフォレスト環境基金活動	環境負荷の低い素材の開発と提供をしている									○		○	○	○	
	CO ₂ を年間132t削減している									○					
	森林、山地生態系の保全や回復、劣化した土地・土壌の回復に取り組んでいる					○						○	○	○	
社員のボランティア活動 (社会貢献活動)	生物多様性に配慮した樹種を植樹している									○				○	
	文化遺産や自然遺産の保全に取り組んでいる									○					
人材育成	[モノづくり教育支援事業]で小学生に体験教室を開催している		○												
	事業所の周辺清掃を行い、地域の廃棄物を回収・処理し、快適な環境を保っている									○					
	職業能力を向上させるための研修を実施している	○	○							○					

環境への取り組み



当社では、全社で環境への取り組みを推進しています。国内の全工場・事業所で2006年にISO14001の認証を取得し、CO₂排出量や廃棄物の削減、環境対応商品の開発など、さまざまな取り組みを行っています。

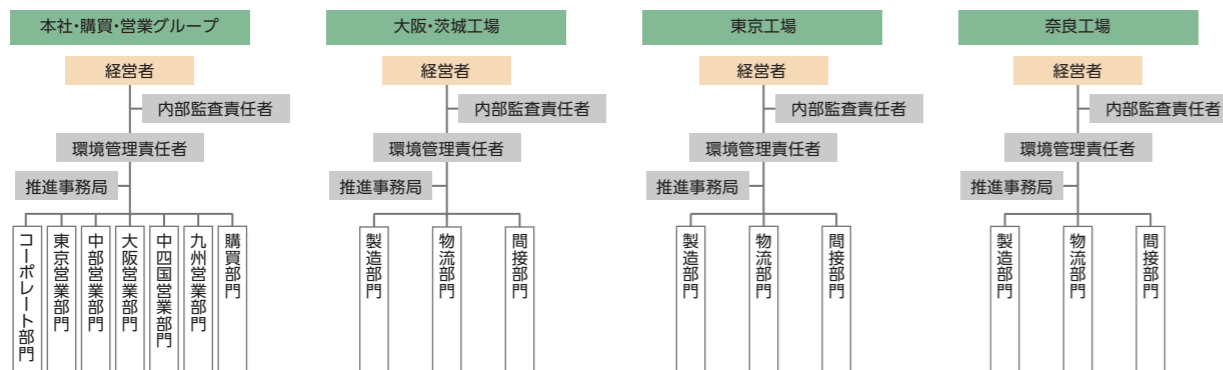
環境理念

私たちは 人と自然を愛し
夢のある未来をみつめ
かけがえのない地球を大切にし
広く社会に貢献します

環境基本方針

1. 安全と環境に配慮した商品開発と技術開発を推進します。
2. 資源、エネルギーを大切に、廃棄物の最小化とその再生利用に努めます。
3. 環境活動を通じて、顧客満足を追いかけていきます。
4. 社会、地域における環境保護運動に積極的に参画します。

環境マネジメント組織体制



環境目標

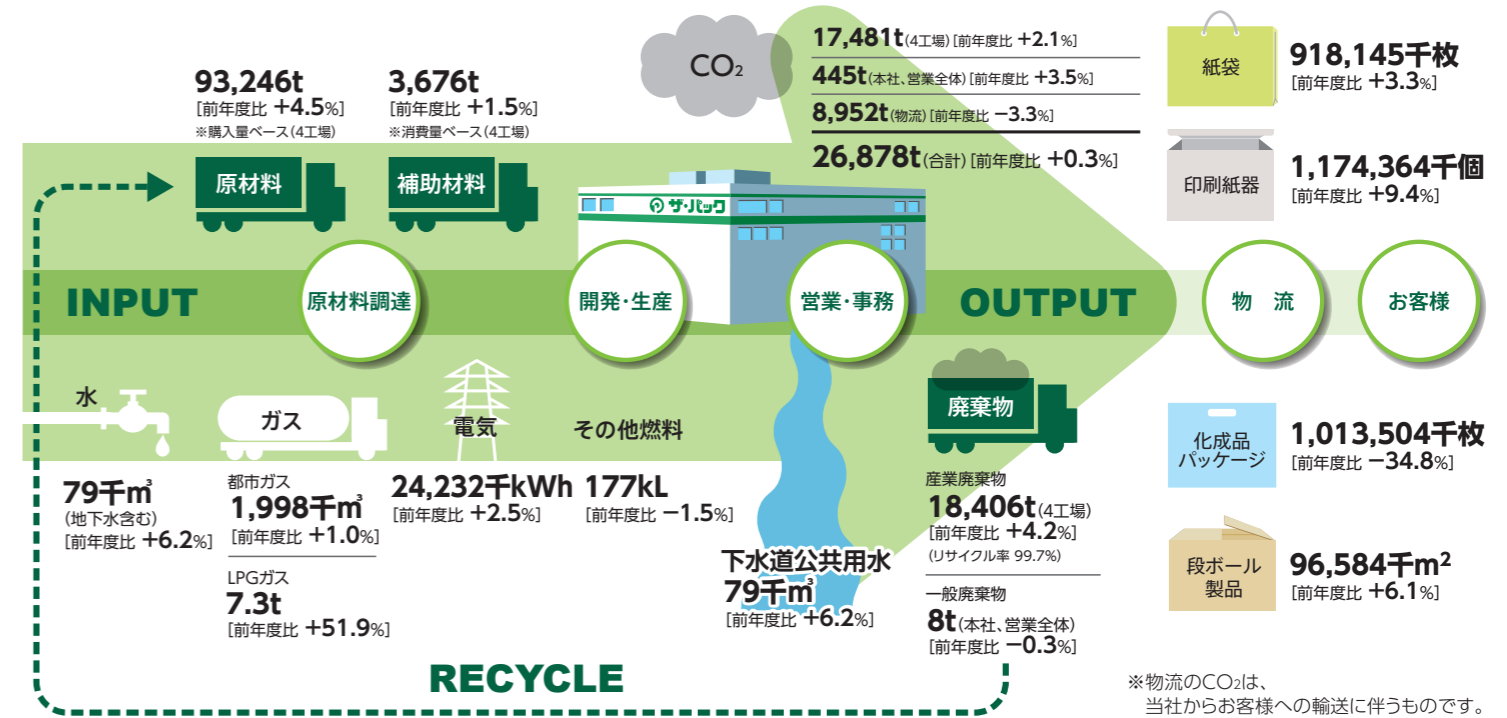
2021年度の目標と結果及び2022年度の目標は以下の通りです。

部署	実施事項	2021年度			2022年度
		目標	実績	結果	目標
営業グループ	フォレスト商品(※)の拡販	フォレスト商品の売上高を2020年に対して減少幅を20%以内に抑える。	+25.3%	○	フォレスト商品の売上高を2021年に対して同等以上にする。
	FSC®商品の拡販	FSC®商品の売上高を2020年に対して+33%向上させる。	+36.7%	○	FSC®商品の売上高を2021年に対して+19%向上させる。
	森林保全活動	森林保全活動を5回計画または実施する。	5回	○	森林保全活動を6回計画または実施する。
工場 大阪	省エネ	CO ₂ 排出原単位の削減 2020年実績以下に削減する。	-0%	○	CO ₂ 排出原単位の削減 2021年実績以下に削減する。
工場 東京	省エネ	CO ₂ 排出原単位の削減 2020年比で1%削減する。	-1.4%	○	CO ₂ 排出原単位の削減 2021年比で1%削減する。
工場 奈良	省エネ	CO ₂ 排出原単位の削減 2019年比で0.5%削減する。	+2.2%	×	CO ₂ 排出原単位の削減 2021年比で0.5%削減する。

※バガス、フォレストライト、カスタードカラー、シュガーブラウン、バイオロープ等を使用した商品は、ザ・パック フォレスト環境基金対象のフォレスト商品です。

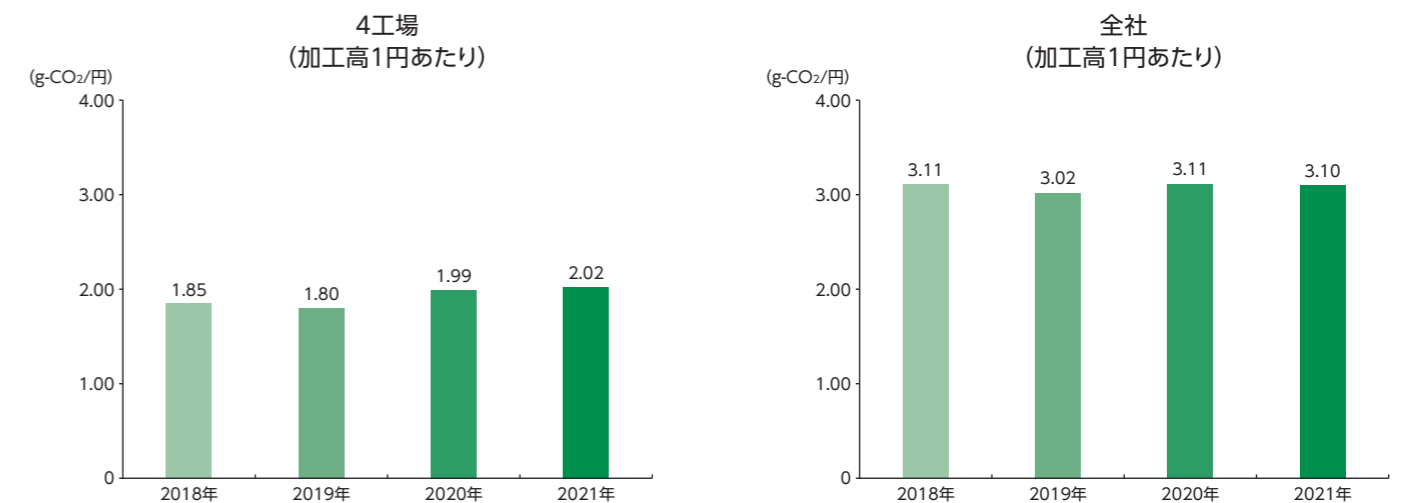
環境負荷の全体像

生産活動全体における環境負荷を把握し、負荷の低減に向けて取り組んでいます。
※4工場(大阪工場、奈良工場、東京工場、茨城工場)及び本社・営業グループのデータを記載しています。



CO₂排出原単位

CO₂排出原単位とは一定の企業活動を行う際に排出されるCO₂の量を指します。当社では、国内工場での加工高と、国内工場・本社・営業全体でのCO₂排出量から算出しています。売上や生産量の変化に影響されないため、一般的に省エネルギーの指標として使われています。

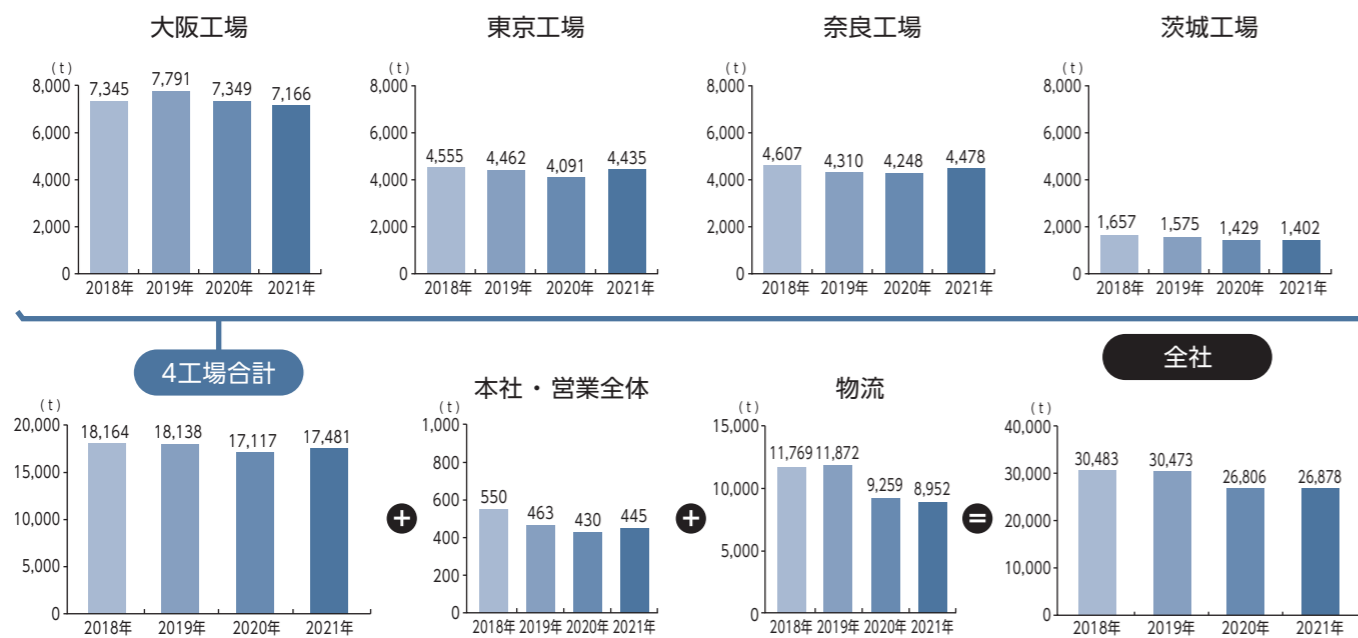


量的変化

本社・営業グループおよび4工場では、省エネ活動や高効率機器の導入などによるCO₂の削減に取り組んでいます。また、産業廃棄物の削減や、リサイクル率の向上にも取り組んでいます。

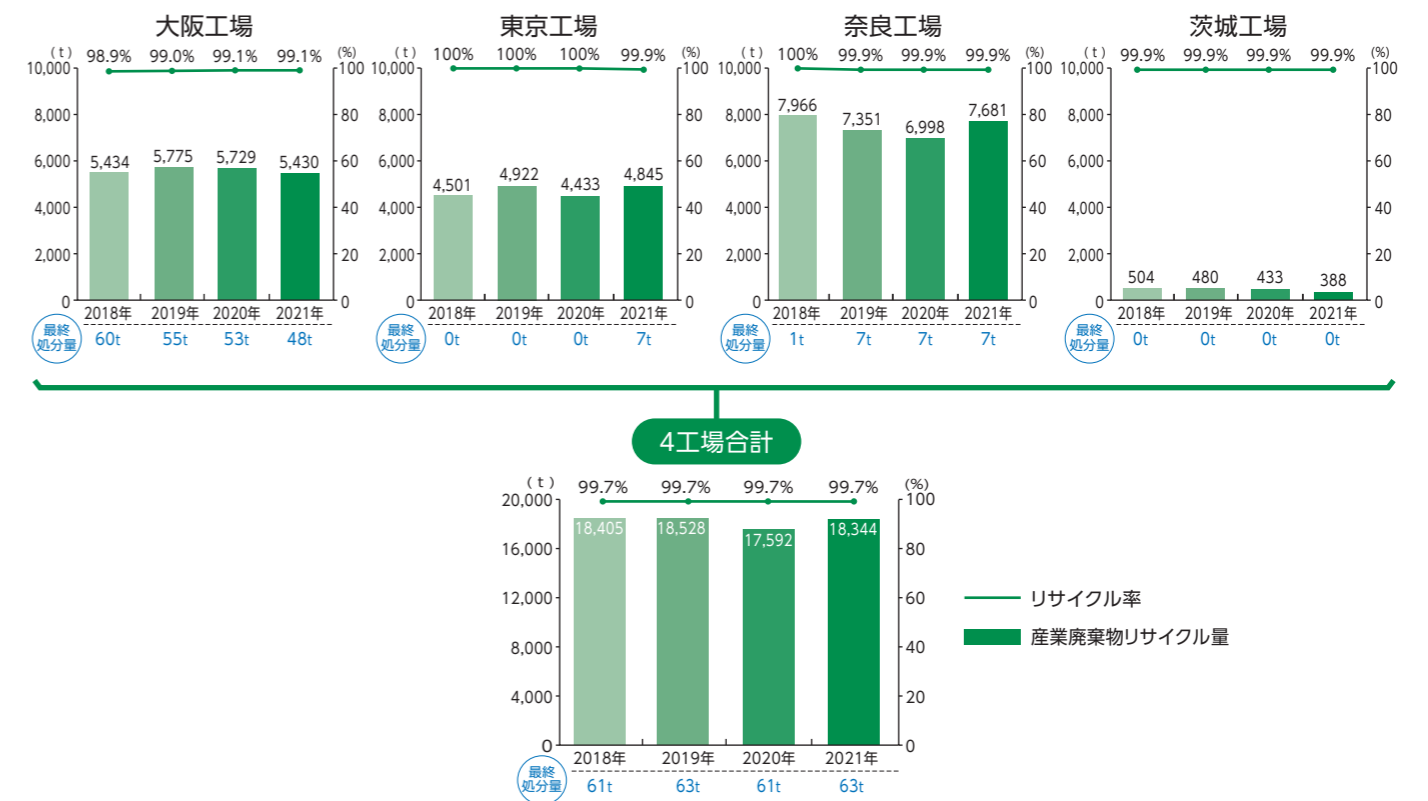
2021年度は加工高の増加に伴い、CO₂排出量も増えています。しかし物流部門での改善の結果、本社におけるCO₂排出原単位は低下しました。産業廃棄物の排出量は増加しましたが、リサイクル率は99.7%を維持しています。

CO₂排出量



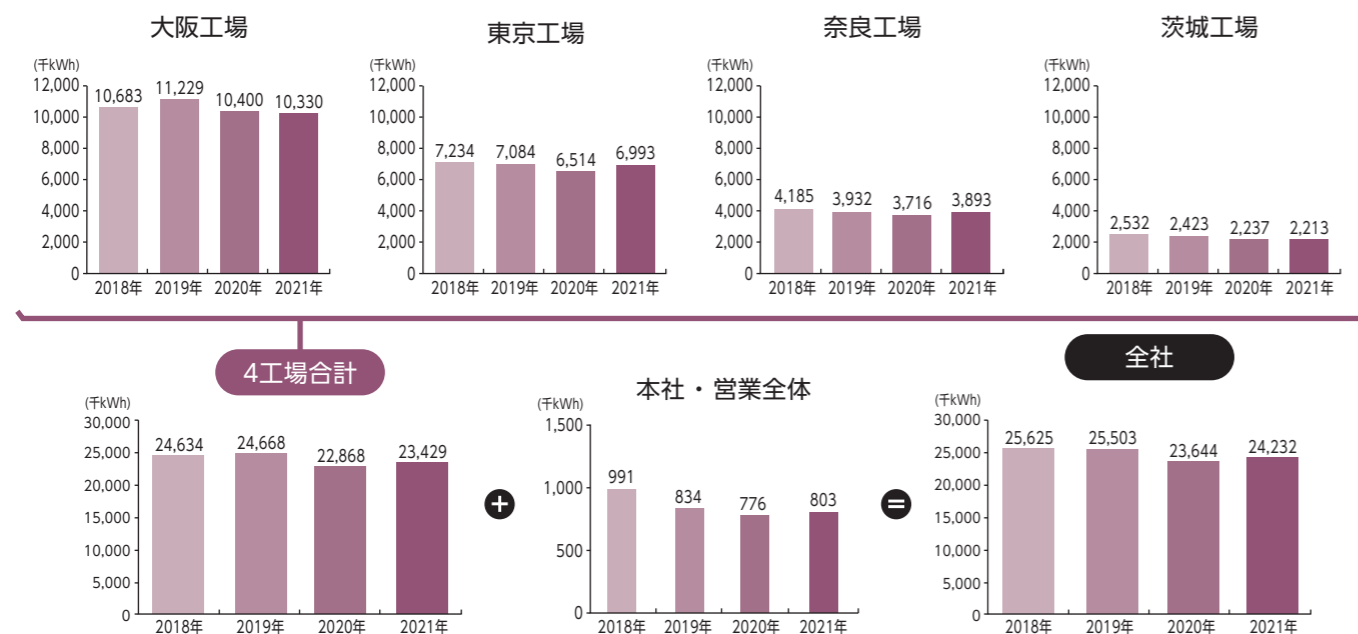
産業廃棄物のリサイクル状況

4工場合計の2021年度リサイクル率は99.7%です



※各数値は四捨五入をしているため、合計が合わない場合があります。
※古紙、ポリエチレンフィルムなどの産業廃棄物は、リサイクルのうえ、有効活用しています。

電気使用量



※自社で設置している太陽光発電による発電量は含みません。

化学物質の適正管理

製造工程で使用する化学物質について、化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法) に基づき適正に管理しています。また、製袋用・紙器用の接着剤においては、規制対象化学物質を使わない安全なものに順次切り替えています。2021年度は前年対比でPRTR法対象物質の取り扱い量が47%削減となりました。

PRTR法に定める第一種指定化学物質の取扱量 (4工場合計)

対象化学物質	含まれる材料	2018年	2019年	2020年	2021年
トルエン	接着剤	1.0	0.8	0.8	0.0
キシレン	接着剤	0.0	0.0	0.0	0.0
フタル酸エステル類	接着剤	1.2	0.5	0.2	0.0
ハウ酸及びその化合物	接着剤	1.7	1.7	1.6	1.6
モノクロロベンゼン	接着剤	0.8	0.8	0.8	0.0
ジクロロメタン	オフセット印刷洗浄剤	0.0	0.0	0.0	0.0
1,2-ジクロロプロパン	オフセット印刷洗浄剤	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		4.7	3.8	3.4	1.6

水資源の有効活用

東京工場では製造工程で発生する印刷インキ・塗料・接着剤の洗浄水を水処理設備で再生したのち、水洗トイレ用水として循環利用しています。これにより水道水の節水と湯水対策につながり、限りある水資源の有効活用にご貢献しています。



東京工場水処理設備

環境配慮型印刷インキ

包装材料に使用される全ての印刷インキにおいて、環境配慮型インキのラインナップを揃えています。脱炭素社会に貢献できるように、石油由来の合成樹脂や有機溶剤が使われている通常のインキから、バイオマス素材のインキや、有機溶剤を使わない水性インキに切り替えることができます。

環境配慮型印刷ポリ袋

ポリ袋に使用される石油由来の合成樹脂削減のため、バイオマス素材のラインナップを増やしています。現在、日本有機資源協会のバイオスマーク認定商品として13種類を取りそろえています。

2020年実績として109,699,707袋のバイオスマーク認定ポリ袋を販売しました。

製品企画における環境配慮の考え方

世界中で環境意識が高まり、環境に配慮することが企業価値向上に繋がる時代になりました。当社のお客様からも、環境対応パッケージに関するご相談を多くいただくようになり、採用の実績も増えていきます。環境対応の切り口はさまざまのため、お客様の商品、考え方、ご希望、予算にあわせて選択していただけるよう、当社では選択肢を多く用意するように心がけています。

【環境配慮の一例】

- 脱プラスチック・紙化：プラスチック → 紙への代替
- 単一素材化：リサイクルしやすい単一素材構成
- 環境対応素材の使用：バイオマス素材、生分解性素材、再生素材、非木材紙、環境に優しいインキを使用
- フォレスト環境基金への賛同：当社販売額の一部が森林保全活動に活用される基金への賛同
- FSC®認証原紙の使用：適切に管理された森林認証紙を使用
- 設計・加工の工夫：廃棄・リサイクルしやすい構造設計、プラスチック製緩衝材の削減、簡易包装、環境に優しい加工

CLOMAへの参画

地球規模の新たな課題である海洋プラスチックごみ問題の解決に向けた取り組みを世界全体で推進することが求められています。そのために、業種を超えた幅広い関係者の連携を強め、技術やノウハウを組み合わせながら、イノベーションを加速させるためのプラットフォームとして「クリーン・オシャン・マテリアル・アライアンス」(英文名: Japan Clean Ocean Material Alliance、略称「CLOMA」)が2019年1月に設立されました。以来、当社は幹事会員としてこの活動に参画しており、主にプラスチック製品の代替素材となる紙の活用を提案しています。今後も、会員各社との情報交換、連携を活かして、新しい環境対応型パッケージの開発やサーキュラーエコノミーの実現に向けた仕組みづくりなどに努めていきます。



ザ・パックフォレスト環境基金活動

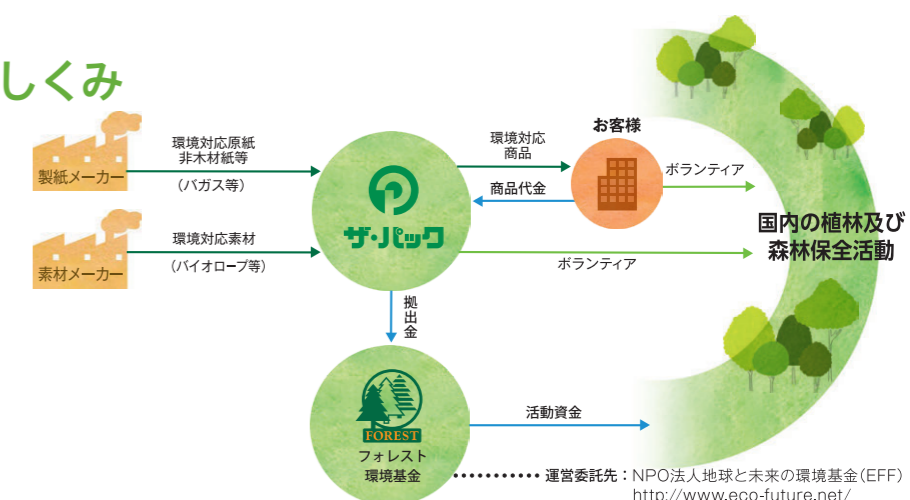


1993年から環境対応商品を開発し、販売額の一部を森林保全活動費用として拠出しています。2000年には独自の「フォレスト環境基金」を設立し、継続して森林保全活動費用を拠出するほか、植林地にて植樹や間伐を行うボランティア活動を開始しました。基金の一部を苗木等の購入費用に充て、委託先であるNPO法人「地球と未来の環境基金(EFF)」と協働で、年に数回活動を行っています。現在、植林地は全国8カ所あり、当社社員だけではなく、お客様、一般の方々にも参加していただいています。

今後もお客様、行政、NPO、地元の方々と共に、地域に合った森林保全活動を続けていきます。

フォレスト環境基金のしくみ

環境対応商品売上額の一部を拠出し、全国8カ所にて森林保全活動を展開しています。



これまでの活動の成果(2021年12月末時点累計)

- 参加者: **6,907人**
- 植樹本数: **20,465本**
- CO₂吸収量: **1,702.08t**

2021年は新型コロナウイルス感染防止対策のために、全ての活動を休止しました。

しかるべきタイミングにて安全に配慮しながら活動を再開する予定です。

※活動の詳細は当社HPをご覧ください。<https://www.thepack.co.jp/environment/forest.html>



植林地

- 1号植林地
岩手県西和賀町(2001年6月植林開始)
- 2号植林地
奈良県吉野町(2002年3月植林開始)
- 3号植林地
沖縄県恩納村(2003年10月植林開始)
- 4号植林地
広島県竹原市(2004年11月植林開始)
- 5号植林地
千葉県君津市(2009年2月植林開始)
- 6号植林地
大阪府高槻市(2009年11月植林開始)
- 7号植林地
埼玉県日高市(2012年3月植林開始)
- 8号植林地
大阪府四條畷市(2016年6月植林開始)



下草刈り風景



間伐風景



植樹風景

フォレストマーク

フォレスト環境基金と森林保全・植林活動を表す、当社オリジナルのロゴマークです。環境対応商品と認定されたパッケージに印刷が可能で、お客様が森林保全活動にご貢献していることを消費者へアピールすることができます。



新製品の紹介 — 環境対応製品の開発 —



持続可能な社会の実現に向けて、環境対応パッケージの需要が高まっています。ザ・パックでは「素材」「設計」「技術」の観点から、環境対応型の研究・開発を行っています。

石油資源使用抑制やCO₂排出量低減のため「バイオマスプラスチック」のニーズが世界で高まっています。当社は国内で大量に回収可能かつ資源として循環させることができる動植物から生まれた有機性の未利用資源である卵殻に着目しました。今後は、サーキュラー・エコノミー※1の考えに則り、未利用廃棄物を活用した資源循環スキームづくりも進めていきます。

※1 サーキュラー・エコノミー:従来の3R(リデュース、リユース、リサイクル)の取り組みに加え、資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながら、サービス化等を通じて付加価値を生み出す経済活動。(参照:サーキュラー・エコノミーに係るサステナブル・ファイナンス促進のための開示・対話ガイダンス)

卵殻+プラスチック バイオマストレー

日本は世界第2位の卵消費国(国際鶏卵委員会調べ)です。今まで廃材になっていた卵の殻(卵殻)は非可食部として、年間約26万トンのほとんどが廃棄されています。この卵殻を高濃度にプラスチックと混合させる技術を応用。プラスチックの使用量を削減した複合素材からなるバイオマストレーを開発しました。



- 製品特徴**
- 卵殻配合バイオマストレー
 - 冷凍・冷蔵対応可能
 - 再原料化・再商品化可能

卵殻+プラスチック バイオマスフィルム

卵殻配合技術をさらに応用し、袋状に加工可能なフィルムを開発しました。環境に優しいフレキソ印刷を使用することで、よりサステナブルなパッケージを実現させることができます。



- 製品特徴**
- 卵殻配合バイオマスフィルム
 - 環境負荷の少ないフレキソ印刷
 - チューブとシート両形状で提供可能
 - 独特な風合い

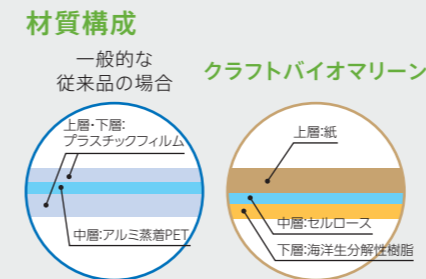
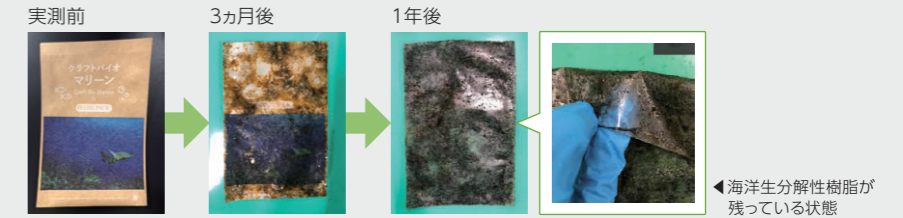
海洋生分解性を有する製品や水に強い紙製パウチの開発を進めています。

海洋生分解性紙製軟包装 クラフトバイオマリーン



海洋プラゴミ問題対策への解決策の1つとして海洋生分解性を有するパッケージを開発しました。海洋において微生物の力により水と二酸化炭素に分解されます。*2

生分解の途中経過報告



- 製品特徴**
- 紙・セルロース・海洋生分解性樹脂の3層構造
 - 海洋に存在する微生物の働きにより、約2年間で水と二酸化炭素に分解される
 - 一般的な従来品であるアルミ蒸着PETとほぼ同等のバリア性能

海洋生分解性袋



海洋生分解性の素材からできた袋を開発しました。

- 製品特徴**
- 海洋に存在する微生物の働きにより、水と二酸化炭素に分解される
 - 海洋生分解目安は25μm=約1年 50μm=約2年*2

*2 第三者機関でISO法にて試験中

紙製耐水クラフトパウチ

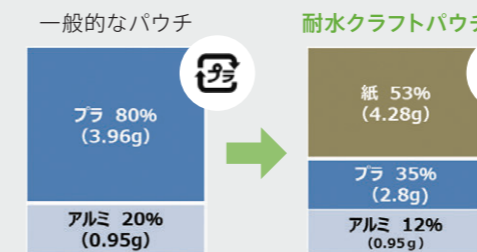


「水に強い」紙製軟包装で、ボイル対応が可能なパウチです。プラスチック使用量の抑制に貢献します。

- 製品特徴**
- 耐水紙に特殊な耐水コートをした「水に強い紙」を使用
 - 水に濡れても破れにくく、繰り返し折り曲げにも耐久
 - 第三者機関での溶出試験の結果、食品対応許可を取得

⇒ **ボイル対応可能**

素材比率比較例 一般的なパウチ(4.91g)を基準として、耐水クラフトパウチに置き換えた場合の一例



- ポイント**
- プラスチック使用量を約30%カット(1袋あたり1.16g減)
 - 識別マークが紙マークになる
 - 一般的なパウチと同等のバリア性

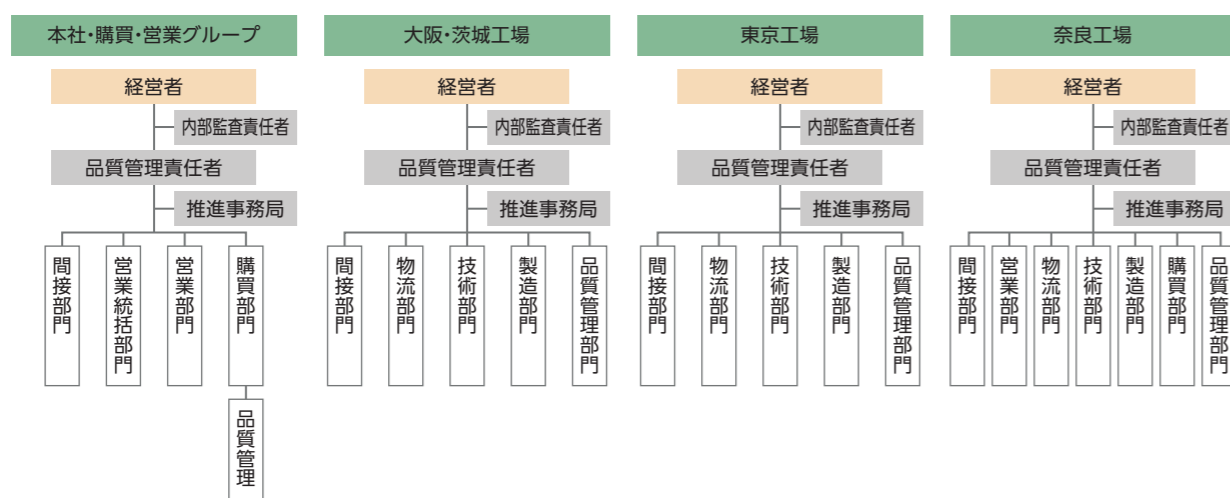
品質管理



当社は品質方針として「品質強化による、CS(顧客満足)の向上」を掲げています。高品質な製品を確保していくために、品質管理組織を設置し、品質や安全に関する活動・教育、クレームや異常発生時の改善を継続しています。お客様に安心・安全な製品をお届けできるよう、これからも社員一丸となって、品質方針に沿った取り組みを実施していきます。

品質管理組織

国内4工場および本社・購買・営業グループにて品質管理組織を構築し、品質管理の統一や業務改善を行っています。



ISO活動

全事業所で品質マネジメントシステムの国際規格であるISO9001、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しています。また、東京工場・大阪工場の食品用紙製包装容器製造ラインでは、国際的な食品安全規格であるFSSC22000の認証を取得し、安心・安全・高品質な食品用パッケージをお届けしています。効果的にマネジメントシステムが構築されるために、内部監査を定期的に行い運用しています。

パック・クオリティー・コントロール(品質管理)活動

全部門にて小規模なサークルを立ち上げ、品質と生産性向上に繋がる業務・職場改善活動に取り組んでいます。社内にて年間2回の表彰を行い、主体的な活動を推進しています。



パック・クオリティー・コントロール(品質管理)活動

品質管理に関する社内教育

製造現場にて、4M(人・機械・材料・方法)変動、3H(初めて・変更・久しぶり)管理の社内教育を実施しています。

社外の協力会社に対する品質パトロール

定期的な品質パトロールによる現地検証での確認・指導・教育を実施しています。

社会貢献活動



社会の一員として、地域の皆様と信頼関係を築き、共に発展していくためにさまざまな活動を行っています。

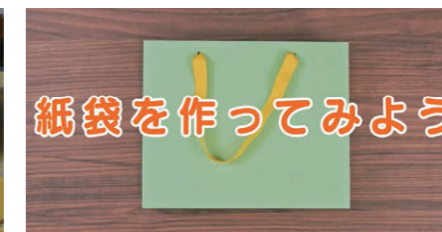
モノづくり体験教室

大阪工場の所在地である東大阪市は、全国トップクラスの工場数を誇り、社会を支えるさまざまな製品が生産されています。市は「モノづくりのまち東大阪」を推進しており、NPO法人東大阪地域活性化支援機構(<https://npohigashiosaka.org/>)に委託して、市内の小学生を対象に「モノづくり体験教室」を開催しています。当社は初年度2002年から参画しており、毎年約10校に社員が講師として参加し、モノづくりの楽しさを伝えてきました。

2020年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため社員が学校に出向くことができず、代わりに「紙袋制作教室」をテーマに教材動画を制作し視聴してもらう形式となりました。2021年は本来の対面形式に戻し、活動を行いました。これからも、新しい生活様式の中、工夫しながら未来を担う人材育成に貢献していきます。

【これまでの活動の成果(2021年末時点累計)】

参加生徒数: **15,304**人(出張教室14,763人、動画視聴541人)



「紙袋制作教室」の動画

公益財団法人関西フィルハーモニー管弦楽団の後援

関西を代表するオーケストラのひとつとして芸術文化の発展に貢献されている、関西フィルハーモニー管弦楽団(<https://kansaiphil.jp/>)の法人会員に登録しています。また、創立50周年記念事業(事業期間2020年4月1日～2021年10月30日)に賛同し、別途支援を行いました。

子供地球基金への賛同

1988年に創立された子供地球基金(<https://www.kidsearthfund.jp/>)は、病気、戦争、災害などで心に傷を負った世界中の子どもたちへ画材や必要な物資を寄贈するとともに、ワークショップを通じてセルフケアを提供しています。子どもたちが描いた絵を企業の商品のデザインとして採用してもらうことで収益金に換え、その資金で子どもたちを支援しています。当社は法人会員として登録しており、お客様が希望される場合、子供地球基金の絵をパッケージのグラフィックデザインに採用していただくことができます。



人材育成と職場づくり



多様な人材が個性と能力を遺憾なく発揮できるよう、人材育成に努め、誰もが働きやすい環境を整備しています。また、快適な職場環境や、従業員と家族の健康を守るため健康経営に取り組み、禁煙チャレンジをスタートしました。サステナブル経営を推進している当社は、今後も世の中の変化に対応し、魅力ある制度を整えていきます。

多様な人材の活用

女性活躍推進

女性が活躍できる環境は、若年者や高齢者、育児や介護などを担う多くの従業員に働きやすい環境です。長く安心して勤められる職場環境を作るため、当社の課題を分析し、2021年に今後の達成目標を定めました。

女性活躍推進のための行動計画

- 計画期間：2021年4月1日～2026年3月31日
- 目標：(1) 正社員に占める女性の割合を25%以上にする。
(2) 正社員(新規卒)採用に占める女性の割合を35%以上にする。
(3) 管理職(課長以上)に占める女性の割合を10%以上にする。
- 課題と取り組み内容：当社の課題は女性が少なく、そのため管理職に占める女性の割合も少ないことです。引き続き、新規卒者の割合を意識した採用を行うほか、多様性、ジェンダー、アンコンシャスバイアスを理解するための研修の実施を予定しています。

正社員に占める女性の割合

(全て年度の12/31現在)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全正社員数 (名)	867	865	892	881	841
うち女性 (名)	156	159	171	176	167
女性比率 (%)	18.0	18.4	19.2	20.0	19.9

正社員(新規卒)採用に占める女性の割合

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全正社員採用者数 (名)	27	30	39	30	13
うち女性 (名)	6	11	8	11	6
女性比率 (%)	22.2	36.7	20.5	36.7	46.2

管理職(課長以上)に占める女性の割合

(全て年度の12/31現在)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全管理職数 (名)	203	205	213	208	206
うち女性 (名)	7	7	7	11	10
女性比率 (%)	3.4	3.4	3.3	5.3	4.9

包括短時間勤務制度

3歳以降の子どもの養育や、介護、通院治療、家族のサポートなどの事情がある社員などが、6時間勤務、7時間勤務、時差出勤から就労形態を選択できる制度です。通常の勤務時間の就業が困難な事情を包括的に考慮し、多様性のある働き方を応援することを目的に制定しました。2018年からスタートし、2021年は12名の社員が利用しています。

包括短時間勤務制度利用者数

	2017年*	2018年*	2019年	2020年	2021年
利用者数 (名)	-	-	4	7	12

*2018年11月1日 制度開始

育休取得数、取得率

現在、育児休業の取得数は20名(2021年1月1日～12月末日の間に1日でも育休を取得した社員数)、女性の取得率は100%です。2022年の法改正にともない、男女ともに取得しやすい風土の醸成を進めていきます。

障がい者雇用

障がいを持った方の就労支援を目的として、2022年4月に和歌山県海南市に事業所を開設しました。県内の支援学校のご協力も得ながら、継続的な雇用に努めていきます。

ベトナム技能実習生

2019年8月より大阪工場へ5名、2021年2月より東京工場へ5名、計10名のベトナム人技能実習生を受け入れています。技能実習制度は途上国の人材が日本で働きながら習得した技能・技術を母国に持ち帰り、将来の母国の発展に役立てることを目的とする国際貢献のひとつです。当社はこの国際貢献に加え、将来的な外国人労働者の雇用も視野に入れ、大阪工場と東京工場を導入いたしました。現在、実習生は印刷紙器の製造現場で印刷箱製函作業に従事しており、それぞれが来日した目標達成に向けて、日々実習に取り組んでいます。

人材育成

オンラインフォロー研修・工場見学

新入社員フォロー研修、入社1年フォロー研修、3年研修をオンラインで行いました。また、これまで集合研修と併せて行っていた工場見学も、事前に撮影した動画をオンラインで視聴する形式に変更し、安全に配慮して実施しました。今後も対面の研修と同等の理解度、研修成果を得られるよう工夫を続けていきます。



新卒採用オンラインインターンシップ

2020年よりオンラインでインターンシップを実施しています。オンライン開催するメリットは、学生が全国どこからでも参加でき、移動にかかる時間や交通費の負担がないことです。また、社員が参加する場合も、開催地以外の事業所から参加できるため、全国のさまざまな部署の社員が協力できます。新型コロナウイルス感染症防止のためにオンライン開催へ切り替えましたが、これをきっかけにこれまで接触できなかった地方の学生と出会う機会ができ、また開催地以外の社員も参加できることで、会社や社員の雰囲気をもっと学生に伝えることができます。

スキルアップ支援制度

社員の自己啓発を促すため、語学習得、資格取得等の経済的支援を行うスキルアップ支援制度を設けています。英語・中国語は全国展開する大手語学学校と法人契約を結び、英語に関してはオンラインレッスンも選択できるようにしています。

支援目的	支援項目	支援内容
語学習得	英語	法人契約価格での受講、 一定の条件を満たす場合は奨励金支給
	中国語	
資格取得	MOS(Word,Excel,PowerPoint)	合格の場合は受験料+奨励金支給
	日商簿記3級以上	
	その他(業務に必要・有益なもの)	
学習	日経TEST	受験料支給

人事総務連絡会義

新人事制度の運用に加え、法律改正、それにとまなう社内規定の変更、税制変更による年末調整の大幅な改定など、情報量と変化のスピードが増しています。そのため、人事部と各事業所総務担当者のレベルアップ、連携を促すため、テーマごとの会議を実施しています。情報共有、知識の底上げ、双方向の意見交換の場として活用しています。

テーマ：新退職金制度説明・36協定・労働時間／社会保険と税法上の扶養家族／育児・介護休業法の改正ポイント 等

健康経営

健康経営優良法人の全体像、順位

健康経営優良法人認定制度とは地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業の法人を認定する制度です。

ザ・パックの健康経営度評価(2021年申請)

- 総合順位：1,751～1,800位/2,869社中
- 総合評価：48.4 ↑ 1.6(前回46.8)



参加企業が増え、より高度で積極的な取り組みが求められています。当社は、「人を大切にし、人を育てる経営」を指針に、従業員と家族の健康維持・増進に取り組んでいきます。

認定までの経緯

2016年 「健康経営優良法人」にチャレンジ
2019年2月 「健康経営優良法人2019 ホワイト500大企業部門」に認定
2020年3月 「健康経営優良法人2020(大企業部門)」に認定
2021年3月 「健康経営優良法人2021(大企業部門)」に認定
2022年3月 「健康経営優良法人2022(大企業部門)」に認定

健康診断、二次検診の徹底

当社では、パート社員を含む全従業員が定期健康診断を受診しています。2020年度の直近の受診率は、定期健康診断が100%、二次検診は67.2%にとどまりました。新型コロナ対策で、受診人数を制限する医療機関が多く予約が取りにくい、または感染リスクを恐れて受診を敬遠するケースが見られました。検査結果で急を要する治療が必要な従業員へは、健康保険組合の保健師より手紙や電話にて受診を推奨する対策をしています。検査の結果を軽視せず二次検診を受けてもらえるよう、継続して案内していきます。

定期健康診断(受診期間:当年4/1～翌年3/31) (対象:全従業員)

	2018年		2019年		2020年	
	人数	%	人数	%	人数	%
受診者	959	100.0	940	98.9	913	100.0
未受診者	0	0.0	10	1.1	0	0.0
合計	959	100.0	950	100.0	913	100.0

二次検診受診(受診期間:当年4/1～翌年3/31) (対象:全従業員)

	2018年		2019年		2020年	
	人数	%	人数	%	人数	%
受診者	172	73.2	117	52.7	166	67.2
未受診者	54	23.0	101	45.5	81	32.8
案内後退職	9	3.8	4	1.8	0	0
合計	235	100.0	222	100.0	247	100.0

健康研修の開催

パート社員を含む全従業員を対象に健康研修を開催しています。2021年は健康保険組合と連携をとり、「コロナ禍を健康に過ごすために」をテーマに制作された当社向けの動画をWEB上で視聴する形式で研修を実施しました。

健康研修 (対象:全従業員)

	2021年	
	人数	%
受講者	1,173	95.3
長欠・産育休	17	1.4
未受講	41	3.3
合計	1,231	100.0

禁煙チャレンジ

従業員とその家族の健康を守ることを目的に、「禁煙チャレンジ」を推進しています。2021年3月のアンケート実施時点では、当社の全従業員における喫煙率は27%と日本の成人喫煙率16.7%(厚生労働省国民健康・栄養調査より)を大幅に上回りました。健康保険組合の卒煙プログラム等の周知徹底とともに、人事部が主体となり以下の取り組みを実施し、喫煙率27%から24%へ3ポイント減少しました。引き続き禁煙を推奨していきます。

主な取り組み

- ①実態を知るための喫煙アンケート調査：事業所・部署ごとの喫煙率を公表
- ②管理職禁煙チャレンジ：担当部長以上の役職者全員が、就業時間内の全面禁煙を宣言
- ③事業所・部署ごとの数値目標を設定し、禁煙を推奨：社内報等で随時経過を報告

喫煙率の経過

(対象:全従業員)

	2021年3月		2021年11月	
	人数	%	人数	%
喫煙者	341	27.1	303	24.3

ストレスチェックの運用

パート社員を含む全従業員向けに毎年ストレスチェックの受検をお願いしています。検査結果によって医師との面接指導を対象者へ推奨するほか、集団ごとの分析を実施し、早期のメンタル不調を発見することに努めています。

ストレスチェック

(対象:全従業員)

	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
受検者数 (名)	1,313	1,304	1,295	1,274	1,215
受検率 (%)	97.9	98.0	97.0	97.2	97.4

健康経営のその他取り組み

- インフルエンザ予防接種実施
- 勤務時間の適正化
- 毎朝のラジオ体操
- 健康強調月間の周知
- 有休取得の促進
- 特定保健指導 など

新人事制度

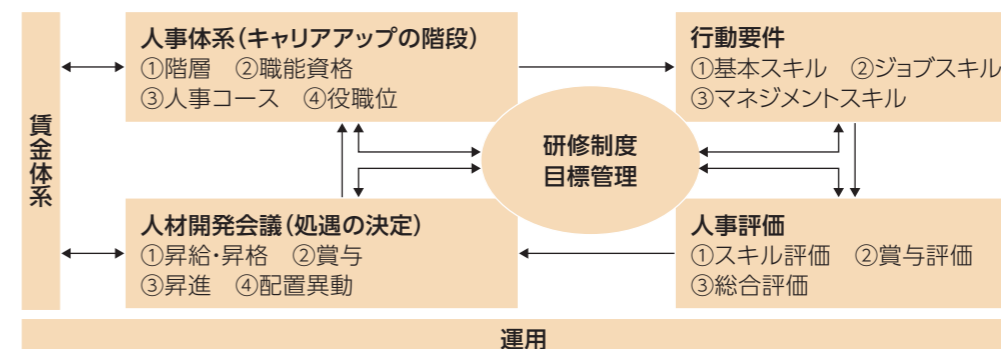
2020年より新人事制度を導入し、賃金や人事体系、評価制度を見直しました。目的は、人が育つ職場をつくり、社員のモチベーションを高め、長く安心して働ける環境をつくることです。

賃金体系

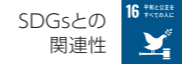
人事体系に基づき、昇給昇格要件をより明確にし、将来像を自分で描けるようにしました。若年層や、定年退職後の継続雇用社員の給与、退職金を見直し、生涯年収を引き上げました。

評価制度

正しい評価を行い、給与や賞与を決定します。評価会議である「人材開発会議」を全社で実施します。評価はできる限りオープンにし、優秀な人材の情報を共有し、評価を議論します。評価する場でもあり、参加する管理職が評価される場でもあり、教育の場にもなります。



コーポレート・ガバナンス/コンプライアンス



当社は、コーポレート・ガバナンスの重要性を強く認識し、経営効率の向上、企業倫理の確立を図り、経営活動が適正に行われるよう監視できる体制を整えています。また、金融庁と東京証券取引所が取りまとめたコーポレートガバナンス・コードにも積極的に対応することで、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に努めています。

コーポレート・ガバナンスの体制

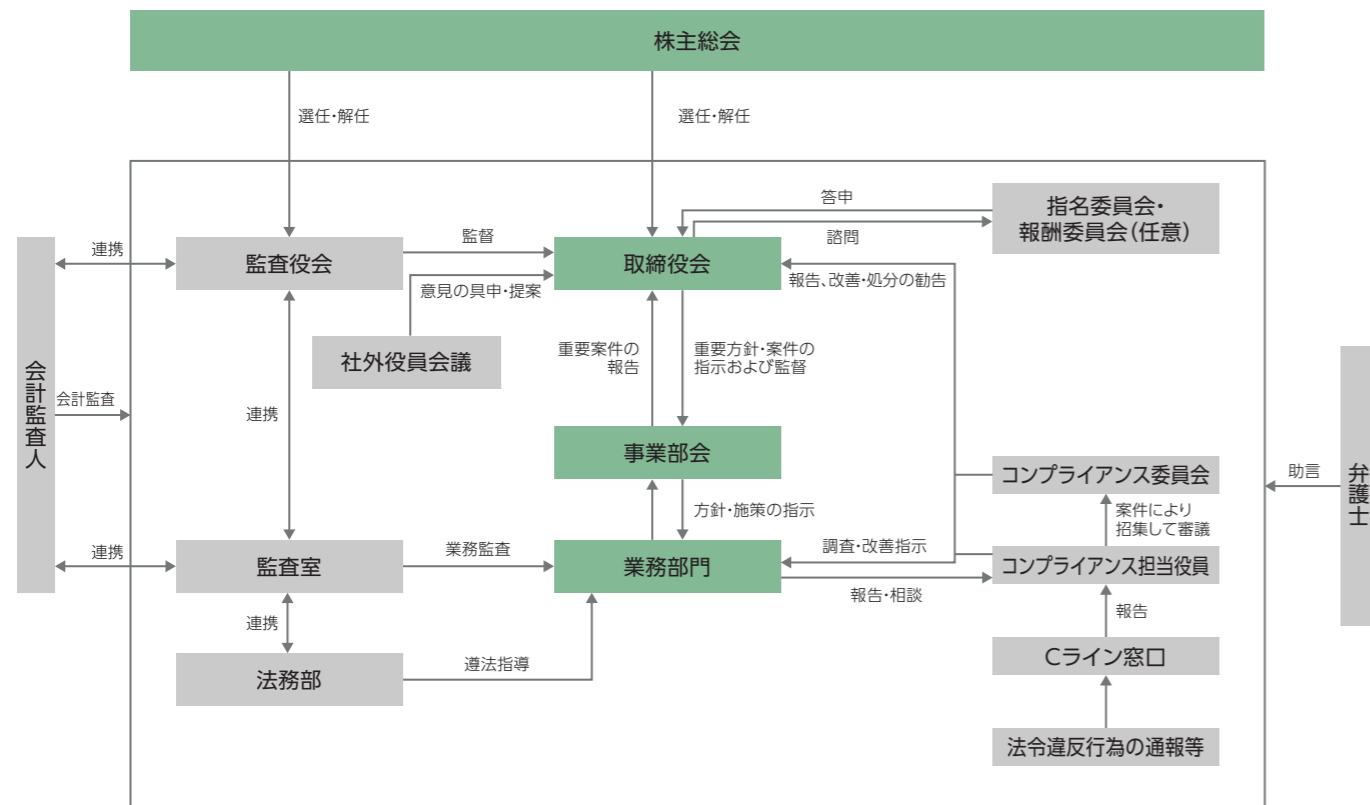
当社は、監査役会設置会社であり、独立した監査役および監査役会により取締役会の職務執行を監査し、経営の健全性・透明性を確保しています。

取締役会は、社外取締役3名を含む取締役9名および社外監査役2名を含む監査役4名により構成されています。

取締役および執行役員の指名ならびに報酬等の決定に係る手続の公正性・透明性・客観性を確保する目的で、任意の指名委員会および報酬委員会を設置しています。

各委員会は、取締役会の決議により選任された取締役(社外取締役を含み、議長も社外取締役が務めます)により構成され、取締役会の諮問に応じ、取締役の指名・報酬に関する事項について審議しています。

このほか、経営の効率化と機動的な意思決定による業務遂行を目的とした執行役員制度の導入、取締役会の監視機能強化の目的で社外取締役・社外監査役が意見交換および取締役会への提言を行う社外役員会議を設置し、コーポレート・ガバナンス体制の充実を図っています。



コーポレートガバナンス・コードへの対応

当社ホームページに、ガバナンスの状況について記載した「コーポレートガバナンス・コードに関する当社の取り組み」を掲載しています。ここでは、コーポレートガバナンス報告書で開示が求められている原則だけでなく、全原則に関する取り組みについて記載しています。

<https://www.thepack.co.jp/company/corporategovernance.html>



取締役会実効性評価

取締役会の実効性を高めるため、毎年すべての取締役・監査役を対象とした自己評価アンケートを実施しています。

- 評価の方法：毎年12月の取締役会において、取締役会の実効性に関するアンケートを全ての取締役、監査役に配布し、回収したアンケートの集計結果に基づき、翌年1月の取締役会において実効性の分析・評価を行い、改善に努めています。
- 回答方法：点数評価、自由回答欄あり
- 回答方式：記名方式

内部統制

当社は、会社法および会社法施行規則に基づき、業務の適正を確保し、当社および当社グループ会社が業務の適正を確保し、効率的経営を行うために必要な内部統制体制を整備しています。

<https://www.thepack.co.jp/company/internalcontrol.html>



コンプライアンスの体制

法的な課題については、内部体制の充実を図るとともに、案件により必要に応じて外部の顧問弁護士に相談し、検討を行っています。

コーポレート本部内の法務部では、法令・社会規範・取引先との契約などについて、管理や教育の体制強化を図っています。

■ Cライン(内部通報制度)

社内の法令違反等の通報・相談の窓口として、「Cライン(コンプライアンス・ライン)」を設置しています。これは、コンプライアンスに対する全従業員の意識を高め、法令違反等の不正行為を予防し、不正や問題点を早期発見して是正することにより、公正で健全な会社経営の実現を目的とするものです。

■ 個人情報保護

個人情報の利用目的、利用方法、管理方法等について定めた「個人情報保護方針」および「個人情報の取扱いに関するガイドライン」を制定しています。

■ コンプライアンス教育・意識啓発

社内イントラネットなどを利用し、社内の遵法教育および法律知識・情報の提供を目的とした情報発信を行っています。そのほか、法務に関する社内教育講座など研修・教育の場を適宜設けながら、コンプライアンス教育・意識啓発に努めています。